施工説明書

INAX

吐水口回転式 シングルレバー混合水栓

LF-X340SR型
LF-X340SRC型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

1.施工の前に

安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注 意 …「取扱を誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

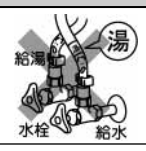
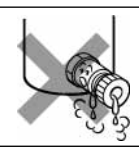
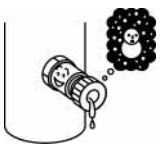
⚠ …「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⃠ …「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)

…「分解してはいけません！」

❗ …「指示通りにしなさい！」

⚠ 注 意

(禁止)	**湯水を逆に配管しないでください。** ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	**水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。** ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。	
(分解禁止)	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
(指示)	**給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
(指示)	**お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。** **寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。** ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。** ※圧力変動がおこり、湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。	
(指示)	**フレキホースの差し直しをする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。** ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
(指示)	**圧力変動により流量が増え、上向き吐水時に洗面器の外に水が飛び出ることがあります。このような場合は、カウンター下の止水栓にて流量を絞ってください。** ※家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

本製品の仕様と条件

給湯温度設定	85℃以下	使用可能水質	上水
使用環境温度	【一般地用】 0～40℃ 【寒冷地用】 －20～40℃	但し、内部の水を凍結させないでください。	
給水給湯接続	G1/2		
圧 力 条 件	0.07MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧) 給水圧力≧給湯圧力		
取 付 条 件	水栓取付穴：φ34～φ38mm		

ガス給湯器（比例式制御式：16号相当）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A＋0.1MPa(流動圧) ※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
最 高 圧 力	0.75MPa(静水圧)

測定条件は次の通りです。
●レバーハンドルは湯側全開。
●給湯温度調節機能がない給湯器とは組み合わせができません。
●給水圧力はガス給湯器直前における圧力です。

貯湯式給湯器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.07MPa(流動圧)
最 高 圧 力	0.75MPa(静水圧)

●給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。

その他の条件

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力（0.20～0.34MPa）に減圧してください。
●給湯器に蒸気は使用できません。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。

施工前のご注意

取付けに必要な工具

●取付には専用工具KG-23、または市販のソケットレンチ（呼び13）、小型のマイナスドライバー、ペンチが必要です。

止水栓を設けてください。

●取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓（別売）を設けてください。
●使い勝手や性能発揮のために**流量調節をしてください。**特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保護材を巻いてください。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。
●必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください。**

株式会社 INAX

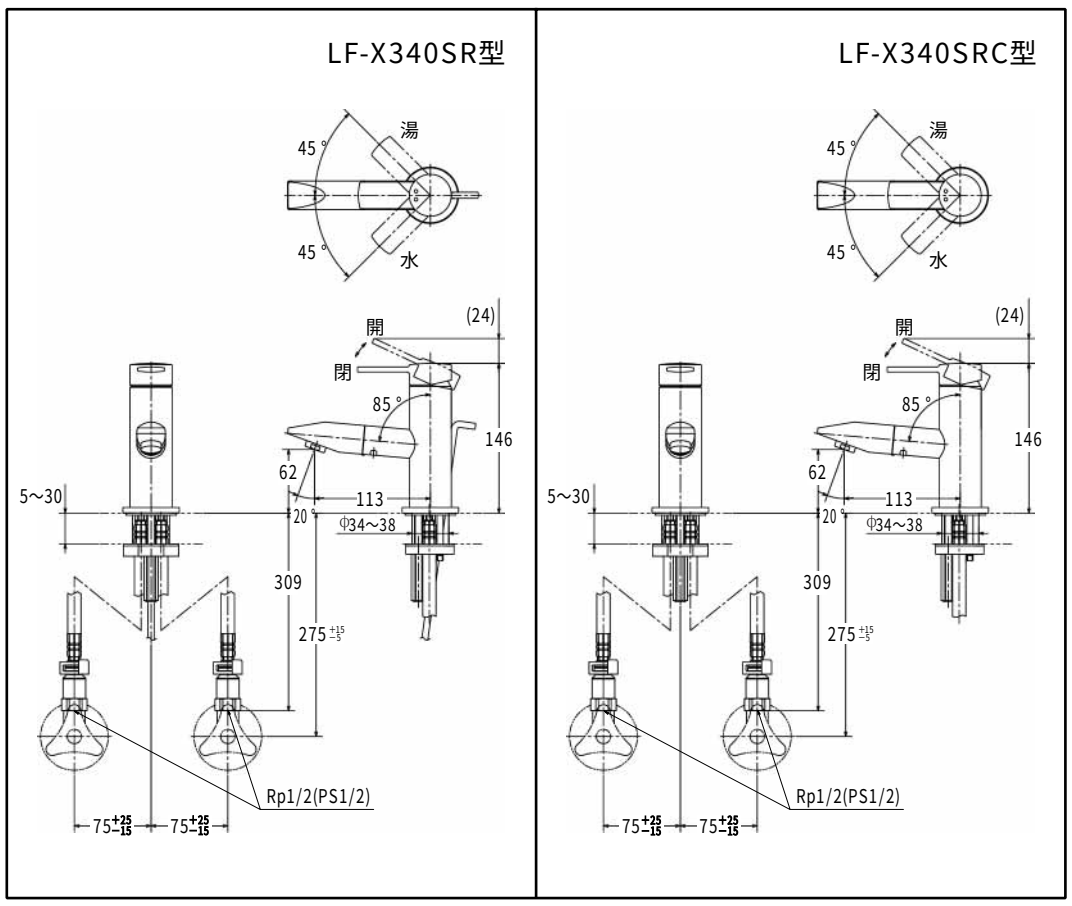
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター 商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間 平日 9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

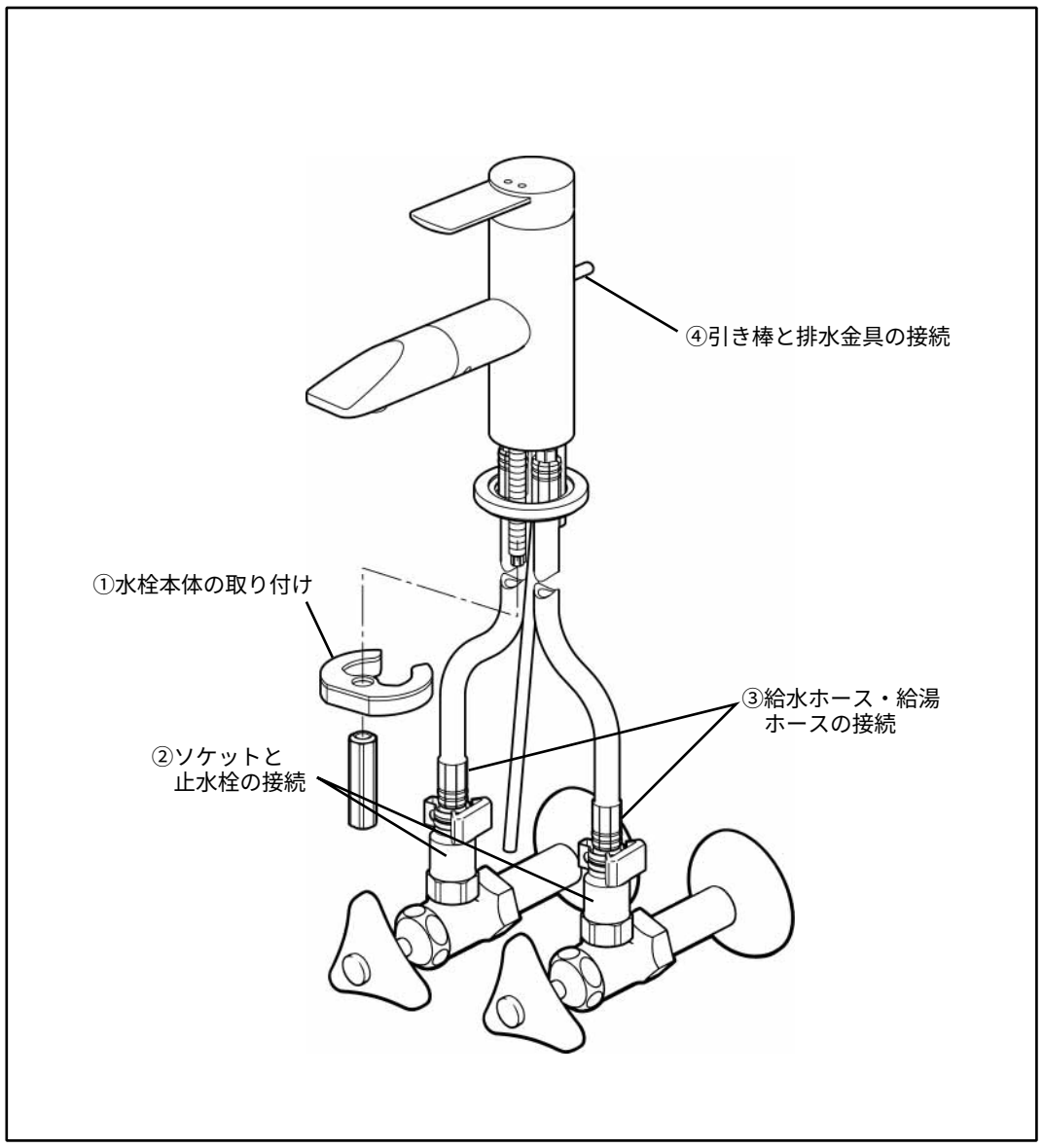
施工完了図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※取付穴：φ34～φ38mm、カウンター厚：5～30mm

施工手順

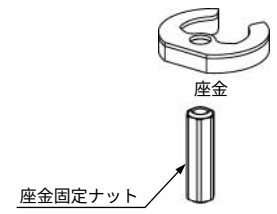


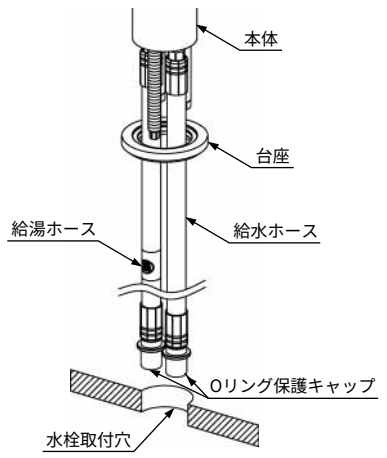
2.施工方法

以下の手順の通り、正しく取り付けてください。

① 水栓本体の取り付け

1. **水栓本体に付いている座金固定ナット、座金を取り外し、給水・給湯ホースを水栓取付穴に挿入し、台座の中央にのせる。**





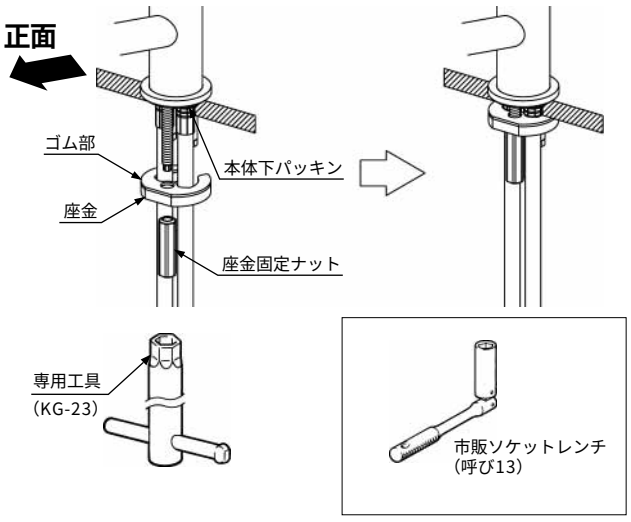
注意

- **Oリング保護キャップはソケットと接続するまで取り外さないでください。**
  ※Oリングに傷がつき、漏水する恐れがあります。
- **施工中、本体を倒さないでください。**
  ※陶器などを破損してケガをする恐れがあります。

2. **吐水口を正規の位置に向けた後、専用工具KG-23にて座金固定ナットを締め付けて、カウンターまたは陶器に固定する。**

注意

- **本体下パッキンがずれないように注意してください。**
  ※漏水する恐れがあります。
- **別売りの専用工具（KG-23）もしくは市販のソケットレンチ（呼び13）を使用してしっかりと締め付けてください。**
  ※漏水する恐れがあります。



ポイント

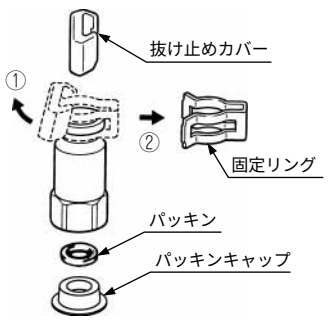
座金のゴム部が水栓取付け穴のまわりに密着するよう固定する。

確認

締付後、本体に浮き、グラつきがないこと。

② ソケットと止水栓の接続

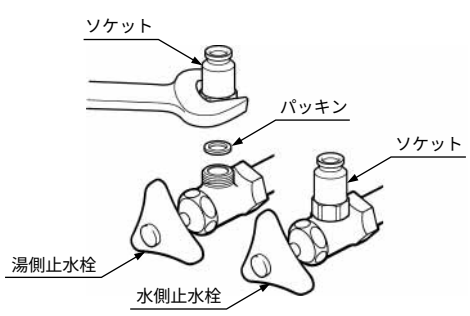
1. **抜け止めカバー、固定リング、パッキンキャップを外す。**



注意

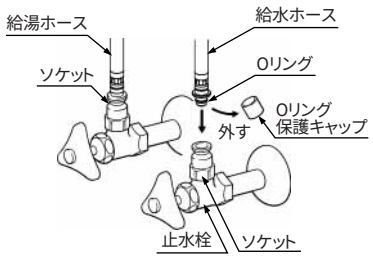
- **ソケットは、製品に同梱されているものを必ずお使いください。**
- **パッキンの紛失に注意してください。**
  ※漏水の原因になります。

2. **ソケットを止水栓に固定する。**



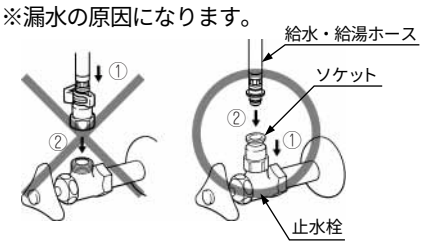
③ 給水ホース・給湯ホースの接続

1. **給水・給湯ホースのOリング保護キャップを取外し、ソケットに差し込む。**



注 意

必ずソケットを止水栓に固定してから給水・給湯ホースを接続してください。
※漏水の原因になります。

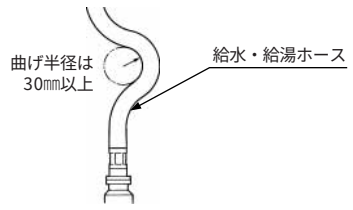


注 意

●Oリングに傷をつけたりゴミかみがないように注意してください。
※漏水の原因になります。
●給水・給湯ホースの差し間違えに注意してください。
※湯と水が逆に出て、ヤケドをする恐れがあります。

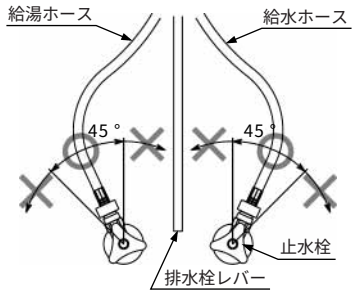
注 意

給水･給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径30㎜以上確保してください。
※漏水の原因になります。

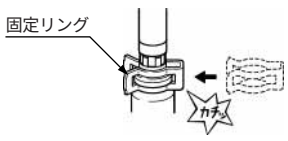


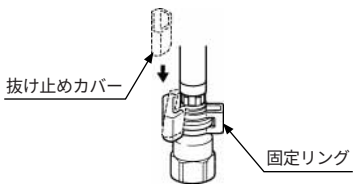
注 意

給水・給湯の取出位置によっては、止水栓の向きを外側に約45 °以内で傾けて、給水・給湯ホースが無理に曲がらないように調節してください。
※内側に傾けると、排水栓レバーがホースと接触し重くなる場合があります。



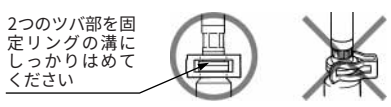
2. **固定リングを給水・給湯ホースとソケットの接続部（ツバ部）にはめ込み、抜け止めカバーを固定リングにはめ込む。**





注 意

固定リングはしっかりとはめ込んでください。
※固定リングが外れると漏水の原因となります。

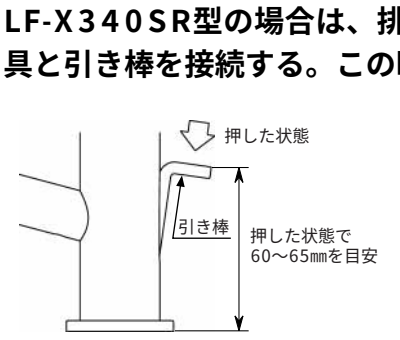


注 意

●給水・給湯ホースを上に引き、確実に接続されていることを確認してください。
※漏水の原因になります。
●抜け止めカバーは、はめたままにしてください。
※直接固定リングに手を触れると、ケガをする恐れがあります。

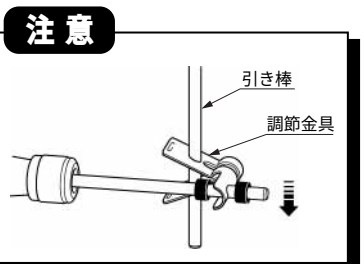
④ 引き棒と排水金具の接続

LF-X340SR型の場合は、排水金具に同梱の施工説明書に従い、排水金具と引き棒を接続する。この時、引き棒は下図のように取り付ける。



注 意

調節金具の向きを右図のように、反対にして取り付けてください。
※引き棒の操作が重くなる原因となります。



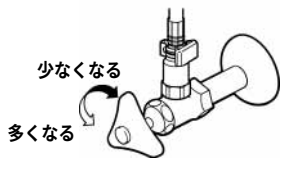
3.施工後の調整

以下の手順の通り、正しく調整してください。

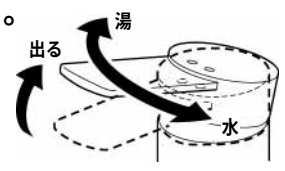
1 水出し確認

- **吐水口は上下360 °回転します。**
- **水出し確認は、吐水口が下を向いていることを確認してから行ってください。**
  ※洗面器の外への水の飛び出しを防ぐために、横向きでは流量が減ります。

1. **水側・湯側の止水栓を全開にする。**

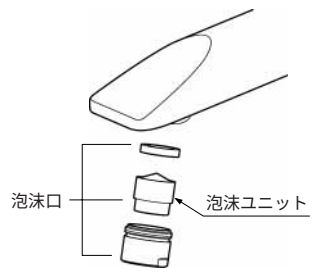


2. **レバーハンドルを水側、湯側で全開にする。**



2 泡沫口の掃除

泡沫口を工具（スパナ（対辺19））で取り外し、泡沫ユニットを水で掃除してください。



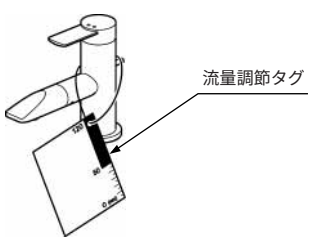
注 意

必ず、泡沫口に布などをあててください。
※直接工具をかけると、泡沫口にキズをつける場合があります。

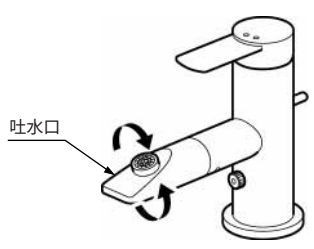
3 流量の確認

- **この製品には定流量弁が入っていますが、水圧や洗面器の条件により、洗面器の外へ水が飛び出る恐れがあります。**
- **以下の手順で流量を確認し、必要な場合は調節をしてください。**

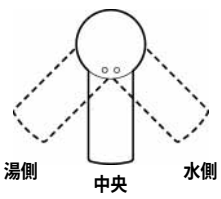
1. **レバーハンドルを閉め、水栓に掛かっている「流量調節タグ」を外す。**



2. **水側・湯側の止水栓を全開にし、吐水口を上向きに回転させる。**



3. **レバーハンドルを中央の位置でゆっくり開ける。**



レバーハンドル全開で吐水高さが50mmに満たない場合

4 **流量が少ない（低圧）場合の調節へ**

レバーハンドルが全開になる前に、吐水高さが120mmを超える場合

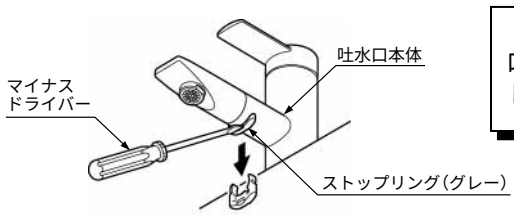
5 **流量が多い（高圧）場合の調節へ**

ポイント

吐水高さの確認には、流量調節タグをご利用いただくと便利です。

4 流量が少ない（低圧）場合の調節

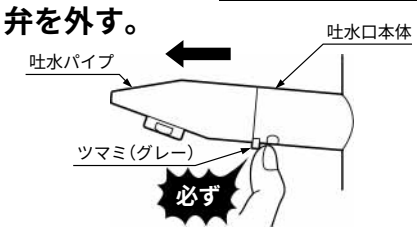
1. **小型のマイナスドライバーで吐水口本体裏のストップリングを外す。**



注 意

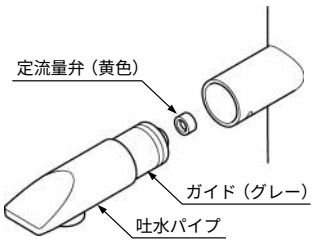
吐水口にキズがつかないように注意してください。

2. 吐水口本体裏の**ツマミを持って**吐水パイプをゆっくり引き出し、定流量弁を外す。



注意

吐水パイプからガイドが外れないように注意してください。
※中の部品が外れ、紛失する恐れがあります。

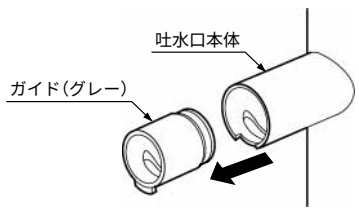


ポイント

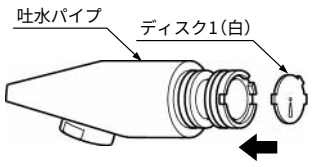
定流量弁を手で外せない場合は、ペンチなどをご使用ください。

万が一、吐水パイプからガイドが外れてしまった場合は、下記のように組み付けてください。

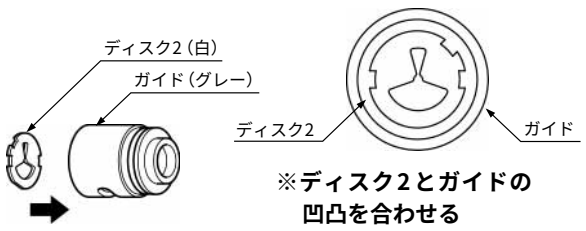
1.吐水口本体内に残ったガイドを取り出す。



2.ディスク1を吐水パイプに組み付ける。

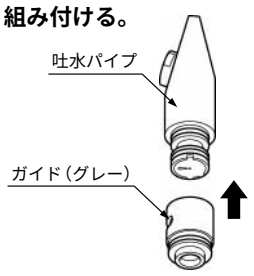


3.ディスク2をガイドに組み付ける。

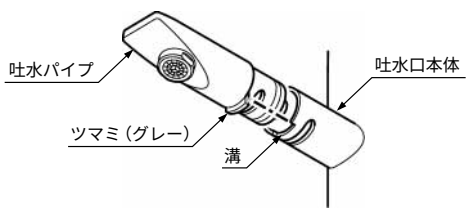


※ディスク2とガイドの凹凸を合わせる

4.ガイドを吐水パイプに組み付ける。



3. 吐水パイプを吐水口本体に差し込み、ストップリングを取り付ける。



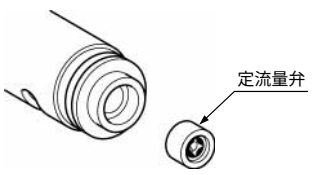
ポイント

ガイドのツマミと、吐水口本体の溝がはまるように、吐水パイプを差し込んでください。

4. レバーハンドルを中央の位置でゆっくり全開にし、吐水高さが120mm以下であることを確認する。

注意

●吐水高さが120mmを超える場合は、定流量弁を元の位置に戻してください。
※洗面器の外へ水が飛び出します。
●定流量弁を戻す際は、下記の向きに組み付けてください。
※逆向きに組み付けると定流量弁が機能せず、洗面器の外へ水が飛び出します。



5 流量が多い(高圧)場合の調節

1. 水側・湯側の止水栓を閉じる。

水の流量の調節

2. 吐水口を上向きにし、**レバーハンドルを水側**の位置で全開にする。

3. 水側の止水栓をゆっくり開き、吐水高さが50～100mmになるように調節する。

ポイント

吐水高さの調節には、流量調節タグをご利用いただくと便利です。

湯の流量の調節

4. レバーハンドルを閉じ、吐水口を下向きにする。

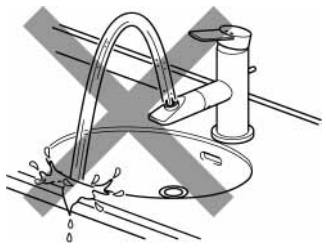
5. **レバーハンドルを湯側**の位置で全開にする。

6. 湯側の止水栓を開き、水側と同じ流量になるように調節する。

7. レバーハンドルを中央の位置でゆっくり全開にし、吐水高さが120mm以下であることを確認する。

注意

●必ず吐水高さが120mm以下になるように、止水栓で調節してください。
※洗面器の外へ水が飛び出します。



4.引渡し前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

現　象	点検内容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	泡沫ユニットのゴミ詰まりはないか？	①	ゴミなどを水で洗い流す。
	止水栓は十分開いているか？		止水栓を十分開く。
	水圧が低くないか？		「流量が少ない場合の調整」の項参照。
	吐水口は横を向いてないか？		吐水口は上向きまたは下向きで使用する。
流量が多い	水圧が高くないか？		「流量が多い場合の調整」の項参照。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	カートリッジ固定ナットを締める。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	泡沫ユニットにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	流量調節はよいか？		湯水の流量が同じになるように、止水栓にて調節する。
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	④	ハンドル止めビスをしっかりと締める。
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	⑥	座金固定ナットをしっかりと締める。
泡沫キャップより水が漏れる	泡沫キャップのゆるみはないか？	⑤	泡沫キャップをしっかりと締める。
洗面器から水が飛び出す	流量調節はよいか？		「流量が多い場合の調整」の項参照。

※点検箇所は下図を参照してください。